

概 要 版

第6次

熊野町 総合計画

2021 >>>> 2030

広島県
熊野町

熊野町総合計画とは

- 熊野町総合計画は、本町の将来像を描き、その実現に向けて施策や事業の体系を示したものです。まちづくり全体また、各分野の方向性を明らかにすることを目的としています。
- 本計画では、少子高齢化や人口減少、経済成長の停滞、大規模な自然災害、新たな感染症など、今後多様化・複雑化していく地域課題に対応したまちづくりを行っていくために、6つの基本目標を掲げ、その実現に向けて様々な施策を展開していきます。
- 本計画における取組の方向性は、世界共通の基準であるSDGsの理念や目標と概ね同様であり、総合計画の各種施策に取り組むことはSDGsの推進につながるものと考えます。本計画においても各種施策とSDGsの関連を明確にし、国際社会の一員として持続可能な社会の実現を目指します。

SDGsとは

2015年に国連総会で採択された、持続可能な社会をつくるための17の目標と169のターゲットのことを「持続可能な開発目標(SDGs)」といいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



計画の構成と期間

総合計画は、「基本構想」「重点戦略(総合戦略)」「基本計画」「実施計画」で構成されます。

計画期間は、基本構想及び基本計画については10年間とし、そのうち基本計画については、令和3年度から令和7年度を前期、令和8年度から令和12年度を後期とします。

また、重点戦略として位置づける「まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、5年を計画期間とします。実施計画は5か年計画としますが、毎年見直しを行うローリング方式とします。

総合計画

基本構想では、本町の将来像や人口ビジョン、土地利用の方向、将来像を実現するための基本目標などを示します。

基本構想

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を重点戦略として位置づけ、人口減少施策や地方創生に関する施策を示します。

重点戦略 (総合戦略) 基本計画

基本計画では、基本構想に掲げる将来像を達成するため、具体的な施策の目的や方針などの内容、施策の実施による効果を評価及び検証するための指標を示します。

実施計画

基本計画、総合戦略で示した施策の目的を達成するために必要な主要事業について示します(別途策定)。

施策の体系

総合計画

基本構想

将来像 **ひとまち育む筆の都 熊野**

～なんかいい ちょうどいい そう想えるまちを目指して～

- 町民との共生による信頼と連携を基本に持続的なまちづくりを進めることで、「なんかいい ことが多いまち」「私たちの暮らしにちょうどいいまち」を実現します。
- 町民同士がつながり、周りの「まち」とつながり、世界の「ひと」とつながることで、さらなる「なんかいい」「ちょうどいい」そう想える「熊野」を目指します。

土地利用の方向

人口ビジョン

基本目標

基本計画

重点戦略 (総合戦略)

- | | |
|-----------------------|--|
| 1 誰もが元気で健やかに暮らせるまち | 1 豊かな人づくり
2 暮らしの安心・安全づくり
3 協働の地域づくり
4 確かな地域ブランドづくり
5 本町におけるSociety5.0社会の実現 |
| 2 学ぶ力と豊かな心を育むまち | |
| 3 活力と魅力に満ちた元気なまち | |
| 4 安心・安全で快適に暮らせるまち | |
| 5 人と自然が調和する美しいまち | |
| 6 自立と協働 みんなで創る持続可能なまち | |

実施計画(別途作成)

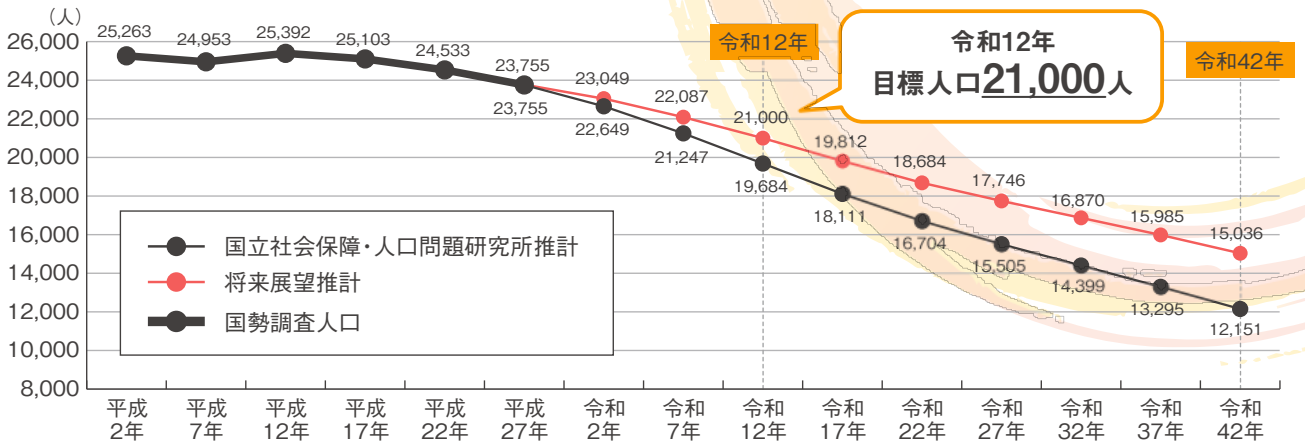
毎年、5年先までの事業内容を策定

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を総合計画における基本計画の重点戦略として位置づけ、基本計画と共通の指標を定め、人口減少施策や地方創生に関する施策を一体的に推進していきます。

将来人口の見通し

本町の人口は平成12年を境に減少に転じており、減少速度は加速的なものとなっています。国立社会保障・人口問題研究所の推計では、令和12年に2万人を割り込むものと推計されています。

本計画では、人口の維持に計画的に取り組むこととし、令和12年の目標人口を21,000人とし、令和42年までに1万5千人を上回る将来展望を目指すこととします。

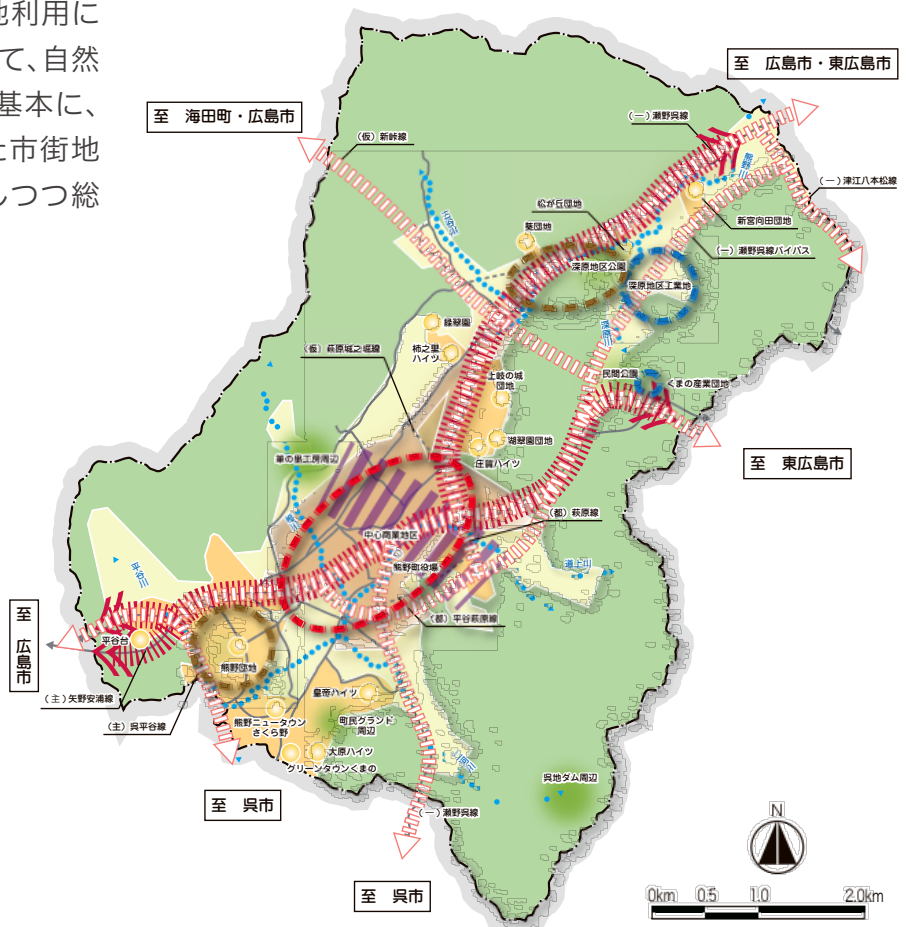


土地利用の方向

まちづくりの基盤となる土地利用については、長期的な視点に立って、自然と都市が共生する土地利用を基本に、コンパクトかつ自然を生かした市街地の形成や、地域の特性を生かしつつ総合的かつ計画的に行います。

将来都市構造図 凡例

区分	種別
	都市計画区域(町全域)
	都市拠点
	地域活動拠点
	産業拠点
	みどり・文化の拠点
	主要な住宅団地
	広域連携軸
	生活連携軸
	筆の軸
	水系
	山なみゾーン
	田園集落ゾーン
	住工芸共生ゾーン
	住環境保全ゾーン



重点戦略 (熊野町まち・ひと・しごと創生総合戦略)

若い世代が結婚や子育てに夢を持ち、少子化に歯止めをかけ、人口ビジョンの実現を目指すための重点的な施策をまとめています。また、地域特性、資源を生かして活力を生み出すとともに、安心して暮らすことができる生活基盤の確保を図ります。

重点戦略1 豊かな人づくり

本町の魅力を一層高めることにより、交流人口を増加させ、多様な形で本町とかかわりを持つ関係人口の増大を目指します。さらに、移住・定住を検討する機会を増やし、地域や経済界と連携した受入・支援体制の構築を進めます。

また、若者の定着や就業の支援、地域社会や世界で活躍できる人材を育成する魅力ある教育環境づくり、地域に誇りと愛着を持つことができる社会活動の支援などに取り組みます。

重点戦略2 暮らしの安心・安全づくり

地域全体による健康増進や、医療・介護の提供体制の充実を図るとともに、継続的な子育て支援や安定的な社会保障制度の運営などに取り組みます。

平成30年7月豪雨では本町も大きな被害があったことから、まちの復旧・復興とともに、災害による犠牲者を再び出さないよう防災・減災に重点的に取り組みます。また、感染症予防の観点から、新しい生活様式の普及に努めるなど、町民それぞれが命と暮らしを守るために必要な取組を進めます。

重点戦略3 協働の地域づくり

協働の地域づくりとして、町民の自主的・主体的な地域づくり活動を支援します。また、本町の一員であることに誇りと愛着を持ち、当事者意識を持つシビックプライドの意識醸成を図るための取組を進めることで、シビックプライドの普及と協働・共生のまちづくりの好循環を実現します。

重点戦略4 確かな地域ブランドづくり

本町の最大の特徴は、世界に誇るブランド「熊野筆」の生産地であることから、熊野筆を中心とした本町のブランド価値を高めることにより、筆産業の活性化を促します。

また、筆の里工房や筆まつりなどの観光資源の活用を促すとともに、町民との協働による観光資源の創造や取組の拡大など、新たな地域ブランドづくりを進めます。

重点戦略5 本町におけるSociety5.0社会の実現

Society5.0時代のデジタル技術を活用し、産業の創造やグローバル化、企業の誘致等に取り組みます。

また、AIやロボティクス技術を活用した事務や作業の効率化による行政改革、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進、医療・介護データの連携による高齢者福祉の向上など、最新技術による人間活動の支援について積極的に研究、導入を促進していきます。

施策の大綱

基本目標

1

誰もが元気で健やかに暮らせるまち



本町の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、健康づくりや医療体制の充実に努めます。

また、地域住民が相互に助けあい、支えあうことで、自分らしい暮らしを続けることができるよう地域福祉を推進するとともに、子どもを安心して生み育てることができる子育て支援体制の充実、高齢者や障害者が安心して暮らすことのできる支援体制の充実など、誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくりを進めます。

指標名	現状値 (令和元年)	目標	
		(令和7年)	(令和12年)
健康づくりの支援への満足度	41.5%	45%以上	50%以上
子育て支援への満足度	31.1%	40%以上	50%以上



【基本施策】

1. 地域福祉の推進
2. 子育て支援の推進
3. 高齢者福祉の推進
4. 障害者福祉の推進
5. 健康づくりと地域医療体制の充実
6. 社会保障の安定

基本目標

2

学ぶ力と豊かな心を育むまち



子どもたち一人ひとりが、主体性・創造性を持ち、それぞれの能力や個性を生かしながら、将来を担う人材となるよう、本町の文化や人材など、地域資源を活用した特色のある教育を推進するとともに、学校・家庭・地域が一体となった取組を進めます。

また、性別や年齢に関わらずあらゆる人がいきいきと暮らしていけるよう、人権を尊重するための取組や、青少年を健全に育成するための環境づくりを進めます。

さらに、生涯を通じて、学び続け、充実した生活を送ることができるよう学習機会を提供するとともに、伝統文化や芸術、スポーツ、地域活動にふれる機会を設けることで、豊かな心を育むまちづくりを進めます。



指標名	現状値 (令和元年)	目標	
		(令和7年)	(令和12年)
学校教育の充実の満足度	31.9%	40%以上	50%以上
生涯学習・スポーツ活動の支援の満足度	37.3%	44%以上	50%以上

【基本施策】

1. 学校教育の推進
2. 生涯学習の振興
3. 文化・芸術の振興
4. スポーツの振興
5. 人権が尊重された社会づくり
6. 青少年健全育成
7. 地域間交流・多文化共生・国際理解の推進

基本目標

3

活力と魅力に満ちた元気なまち

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



日本一の筆産地であるという誇りを持ち、筆づくりの技術やそれにまつわる歴史・文化を日本はもとより、世界に向けて発信するなど、熊野筆のブランド化を一層推進します。

また、町民の豊かな暮らしを実現するため、起業支援や企業誘致など新しい産業の育成、就業機会の創出に取り組むとともに、本町の文化や人材などの地域資源を有効活用し、広域的な連携も踏まえながら、観光・交流機能の充実を図り、活力と魅力に満ちた元気なまちづくりを進めます。

指標名	現状値 (令和元年)	目標	
		(令和7年)	(令和12年)
人口の社会増減	▲93人	▲45人	±0人
入込観光客数	106,172人	150,000人	200,000人
ふるさと納税寄附件数	1,231件	1,300件	1,400件
熊野筆のブランド戦略の満足度	42.4%	45%以上	50%以上



【基本施策】

1. 移住・定住の推進
2. 商工業の振興
3. 観光の振興
4. 雇用の促進
5. 熊野筆ブランドの充実

基本目標

4

安心・安全で快適に暮らせるまち

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



近年、頻発する大規模自然災害に対し、町民の身体や生命、財産を守るため、防災対策や減災対策に取り組むとともに、町民との協働のもと、地域の実情に応じた地域防災力や防災機能の向上を図ります。

また、防犯力や交通安全対策を強化し、犯罪や交通事故が発生しにくい環境づくりを進めます。

さらに、交通体系の維持・向上や交通サービスの充実を図るなど、安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを進めます。



指標名	現状値 (令和元年)	目標	
		(令和7年)	(令和12年)
自主防災組織の組織率	23.8%	50%以上	80%以上
防災教育への取組の満足度	28.8%	40%以上	50%以上
地震・風水害などの防災・減災対策の満足度	28.1%	40%以上	50%以上

【基本施策】

1. 防災・減災対策の強化
2. 砂防・治山・治水の推進
3. 消防・救急体制の充実
4. 道路交通網の整備・充実
5. 生活インフラの整備
6. 防犯・交通安全対策の推進
7. 消費者の保護と意識啓発

基本目標

5

人と自然が調和する美しいまち

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



身近に自然が広がるまちとして、自然環境・景観の保全に努めるとともに、豊かな緑に恵まれた環境づくりを進めます。

また、地球規模での環境問題に関心が高まる中、環境負荷の少ないまちづくりやごみ処理・資源循環システムを整えるなど、人と自然が調和した環境にやさしいまちづくりを進めます。

指標名	現状値 (令和元年)	目標	
		(令和7年)	(令和12年)
自然環境の保全と活用の満足度	17.0%	18%以上	20%以上

【基本施策】

1. 土地利用と都市計画の推進
2. 公園・緑地の整備・保全
3. 自然環境の保全
4. 循環型社会の形成
5. 美しい景観の形成
6. 農地の維持



基本目標

6

自立と協働 みんなで創る持続可能なまち

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



町民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、積極的な情報発信・共有に努めるとともに、地域課題に関連する様々なステークホルダーと連携する体制づくりを進め、多様な取組における町民参画を促します。

また、限られた資源を有効活用し、効果的で効率的な行財政運営の構築に取り組み、行政サービスの確保と持続可能なまちづくりを目指します。

さらに、スマート自治体の実現に向け、AIやロボティクス等のデジタル技術を活用した行政運営の改革や、民間企業等が有する先進的な技術の活用により、業務の効率化を図ります。また、防災や福祉、教育、観光などあらゆる政策分野においてこれまでの施策や慣例を見直し、デジタル技術を活用することで、行政サービスが、いつでも・どこからでも・わかりやすく利用できるシステムの構築を進めます。



指標名	現状値 (令和元年)	目標	
		(令和7年)	(令和12年)
町民と行政の協働のまちづくりの満足度	19.5%	30%以上	40%以上
デジタル化への取組に対する満足度	-	30%以上	50%以上

【基本施策】

1. 町民参画の推進
2. 効率的・効果的な行財政運営の推進
3. スマート自治体への体制整備
4. 広域連携の推進

第6次熊野町総合計画 概要版

発行：令和3年3月 熊野町総務部政策企画課
〒731-4292 広島県安芸郡熊野町中溝一丁目1番1号
TEL:082-820-5634 FAX:082-854-8009